

## 『良友』画報と上海の文学研究

孫安石／村井寛志／中村みどり／大里浩秋(名誉教授)／山口建治(名誉教授)

『良友』画報を取り上げた本研究は2015年から3年間にわたり学内共同研究(『良友』画報と東アジアの都市文化に関する共同研究)に採択され、今まで活動記録をすべて掘り起こし研究会のブログ<http://liangyou.jugem.jp/>に内容を一般公開している。以下、2016年10月以降の研究会の活動を記す。

### (1) 第59回『良友』画報研究会

日時：2017年2月20日(月曜日)

場所：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス・D号館3階アクティブスタジオ

主催：『良友』画報研究会

司会：森平崇文(神戸学院大学)

(一)「梁得所と『良友』画報」菊池敏夫(神奈川大学)

(二)「『良友』画報から『大衆画報』へー編集者梁得所の軌跡」森平崇文(神戸学院大学)

(三)「『良友』と全国撮影隊ー中国の自己発見」孫安石(神奈川大学)

(四)「『良友』画報の画家たち」呉孟晋(京都国立博物館)

コメンテーター：村井寛志(神奈川大学)、高綱博文(日本大学)、石川照子(大妻女子大学)

### (2) 第60回『良友』画報研究会

日時：2017年5月13日(土曜日)

場所：神奈川大学横浜キャンパス 20号212室

共催：『良友』画報研究会、日本上海史研究会

(一)「上海フランス租界の鉄門(1925-1946)

について」馬軍(上海社会科学院、歴史研究所)

(二)「日中戦争と『華北映画』雑誌について」張新民(大阪市立大学)

コメンテーター：村井寛志(神奈川大学)、高綱博文(日本大学)、石川照子(大妻女子大学)、孫安石(神奈川大学)、菊池敏夫(神奈川大学)

### (3) 第61回『良友』画報研究会「いまなぜ上海研究か？」

日時：2017年5月27日(土)

場所：神奈川大学横浜キャンパス 1号館804会議室

共催：『良友』画報研究会、非文字資料研究センター

司会：孫安石(神奈川大学)

(一)「近代上海の公園と都市への展開」熊月之(上海社会科学院、歴史研究所)

(二)「上海と港湾の研究について」戴鞍鋼(復旦大学)

(三)「上海のフランス租界と日本建築」陳祖恩(東華大学)

コメンテーター：熊谷謙介(神奈川大学)、菊池敏夫(神奈川大学)、石川照子(大妻女子大学)

### (4) 第62回『良友』画報研究会「上海租界と外国人社会について」

日時：2017年10月28日

場所：神奈川大学横浜キャンパス 3号館406室

主催：神奈川大学『良友』画報研究会

---

共催：神奈川大学非文字研究資料センター・上海  
社会科学院歴史研究所

司会：孫安石（神奈川大学）

（一）「上海のユダヤ人研究の最新動向について」

王健（上海社会科学院歴史研究所）

（二）「日本軍政下の上海におけるユダヤ絶滅政

策の存否をめぐる」菅野賢治（東京理科大学）

（三）「上海のフランス語新聞 Le Journal de

Shanghaiにおける日・仏・中文化交流」趙  
怡（東京工業大学非常勤講師）

（四）「ドイツの版画と上海の魯迅」東家友子（東  
京大学大学院博士後期課程）

コメンテーター：熊谷謙介（神奈川大学）、大橋

毅彦（関西学院大学）、菊池敏夫（神奈川大学）、

石川照子（大妻女子大学）

上記の第61回と第62回の例会の詳細については、神奈川大学非文字資料研究センターの『非文字資料研究』を通して報告し、2018年3月を目標に『良友』画報を主な内容とする研究論文集（勉強出版）を刊行することを目指している。

